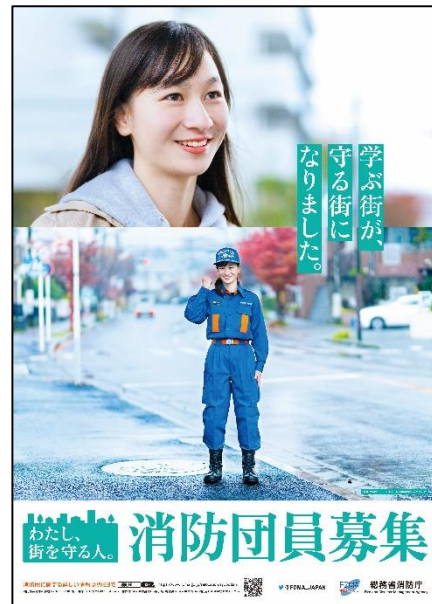


令和元年度「消防団員入団促進用ポスター・リーフレット」

○ポスター 一般・学生・女性向けを制作



○リーフレット 一般・学生・女性・企業向けを制作

今、消防団には、 女性のチカラが 求められています。

消防団について
消防団は、市町村の非常備の消防機関であり、その構成員である消防団員は、他に本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自らを守る」という精神に基づき、消防防災活動を行っています。

消防団員と消防職員の違いは？

消防機関 消防団員 約16万人	常備消防 約84万人	消防団 約432万人
消防団員	常備消防 消防団員	消防団 消防団員
消防団員	消防団員	消防団員

消防団員は、専任を待ってあり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、消火活動等を行います。消防団員の身分は、非常勤特別職の地方公務員です。一方、消防職員は、専任の職員として、消防本部や消防署に勤務しています。

消防団の活動について
消防団は、消防組織法に基づき、全国の各自治体に設置されている消防機関です。自らの仕事と両立しながら、地域防災の担い手として、住民の安心・安全を守る重要な役割があります。

消火・防災訓練
火災現場での役割を想定した訓練や、避難訓練などを行います。また、各地域で実施される防災訓練において、自主防災組織との連携も実施しています。

救命講習会
1年1回、救命講習会を開催し、心肺蘇生法やAEDの使い方などを習得する機会を多く提供しています。

防火啓発活動
各家庭を訪問した際の防火指導、地域単位での防火啓発活動などを実施しています。

消火活動
火災発生時には、自宅や職場から迅速に駆けつけ、消火活動や放水活動を行います。

災害時の活動
大規模災害発生時等に、被害者支援や物資配布などを行います。また、避難所運営や、避難所運営委員会などにも参加しています。

水防活動
高低差のある地域では、河川の水位監視や、水防活動などを実施しています。

消防団員インタビュー

監修：企画文庫専門員 林 洋子 新潟県新潟市消防団 中央分団（ひまわり班）

誰かの役に立てる。
大好きな街を守る。
消防団は、わたしの居場所。

女性にもできる幅広い活動
分団員として、女性消防団員として活躍しています。消防団のPR活動や地域の女性への啓発活動など幅広く活動しています。地域のリーグの試合にもお邪魔して入団促進をアピールするイベントも行いました。

産休から消防団に復帰
産休を終えて消防団に復帰しました。家庭と仕事と両立する働き方は大変ですが、防災に関する講習会の講師や、自宅訪問等といった短時間の活動に参加させていただけようになっています。勤務をきかせてくれることが、消防団を続けられる理由のひとつです。

人のために何かをやりたい
本質的な部分だと思いますが、やっぱり人のために何かやりたいという思いが強いんです。家庭でも職場でもいかなる場所でも役に立っているというところが、消防団を続けられる理由のひとつだと思います。

地域を守る一つの力に
消防団には、各団の専らしてはいることのできる団員の知識や、出動することになった人たちがたくさん出動します。気さくでたたくさん出動もウェルカムな雰囲気のので、まずは活動を見に来てほしいです。

きっかけは友人からの誘い
消防団に入った友人から、地域のために活動している友人に誘われて入団を決めました。自分の周りの頼られた人だけではない、もう少し広い範囲で誰かの役に立てたいという思いがあったからです。訓練のノウハウもポイントでした。

ここがポイント！

- 働くながらも地域に貢献できる！
- 参加しだきやすいさまざまな制度がある！
- 男性・女性・学生問わず活躍の場がある！

※裏面には、入団方法や制度の詳細があります。ぜひご覧ください。

※以下URLより、全てのポスター・リーフレットを閲覧できます。

<https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/data/pr/>